



四国がんセンター ニュース

2017
10
OCTOBER

基本理念 患者の立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。

仕事と生活の調和

政府は日本経済再生に向けて、最大のチャレンジは働き方改革で、「働きかた」は「暮らし方」そのものであり、企業文化、ライフ・スタイル、働くと言うことに対する考え方そのものに手をつける改革であるとしています。(平成29年3月28日働き方実現会議議事録より)

勤勉な日本人が世界でも評価されていますが、働き方を見直す時期がきているのではないかでしょうか。長時間労働を削減し、ワーク・ライフバランスを見直し、子育てや家族・仲間との交流の時間を増やすことで生活にゆとりが生まれ、柔軟な発想が可能となり改革に繋がるでしょう。現在日本は外国と比較すると労働時間が長く労働生産性も低いとされています。経済協力開発機構(OECD)によると2015年の日本人の労働時間は年間1700時間超で、フランス1482時間やドイツ1371時間と比較すると長いのが現状です。また労働時間と生産性(一人当たりのGDP÷労働時間)には負の相関があると言われており、長時間労働での生産効率が悪いことがわかつています。労働生産性の向上とワーク・ライフバランスの調和を同時に達成する改革が求められています。

当院でも今年の5月に中間管理職の合宿研修を行い、そこで検討した意見の中から6つのテーマを選び、病院推奨のプロジェクトチームを立ちあげて改革を進めています。その中のひとつに働きかた改革として「子育て支援」をテーマにしたプロジェクトチームがありますが、そのチームで検討する意見を病院として真



(内子町 小田深山渓谷渓首 撮影:俊野 健治)

摯に考えることを開始しました。子育て・介護などが必要な職員への支援を充実させるためはどのようにすれば良いかを医療の質向上委員会がチームの活動をバックアップし、仕事と生活との調和の実現に向けて改革を進めてまいります。

特命副院長
医療の質向上委員会
河村 進



GDP(Gross Domestic Product):国民総生産

四国がんセンターの理念

患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。

■基本方針

- ①患者さんの権利と尊厳を守る診療・看護を実践します。
- ②がん基幹医療施設として全国及び地域の医療施設と連携した最新の医療を実施します。
- ③がん克服に向けた予防・診断・治療の研究を推進します。
- ④最新のがん医療の普及を目指した教育・研修を実践します。
- ⑤がんに関する医療情報の収集と国内外への発信に努めます。
- ⑥健全な病院経営、持続的な意識改革を実行することにより、患者さんにはかかって良かったと思われる病院、職員には働いて良かったと思われる病院を目指します。

看護部の理念

私たちは専門職としての誇りと責任をもち、がんと共に生きる人を支える最良のがん看護を提供します。

■基本方針

- ①患者さんのQOL向上をめざした看護を実践します。
- ②がん看護の専門家として、チーム医療に参画します。
- ③がんとともに生きる人をサポートするシステムをつくります。
- ④専門職として研鑽を重ね、がん看護の指導的役割を担います。
- ⑤患者サービスの向上に向け病院運営に参画します。

患者さんの権利とお願い

■患者さんの権利

①良質かつ適切な医療を受ける権利

個人の人格が尊重され、科学と信頼に基づいた診療を受けることができます。

②「説明と納得」のもとに医療を選択する権利

病状や治療法に関する情報の提供と納得いく説明を受け、検査・治療法について自ら選択あるいは拒否することができます。

③自己の診療記録に関する情報開示を求める権利

自己の診療記録の情報開示を求めることができます。

④個人情報が保護される権利

診療上得られた患者及び家族の個人情報は、法律上あるいは治療上の正当な事由のある場合を除き厳正に保護されます。

⑤セカンドオピニオン制度を利用する権利

主治医より受けた診断、治療方法について他の医療機関の専門家に意見を求めるることができます。

■お願い

- ①自己の病状や健康に関する正確な情報を医療従事者にお伝えください。
- ②よりよい療養環境を維持するために病院の規則ならびに医療従事者からの指示をお守りください。厳守されない場合には診療や療養を継続することができなくなることがあります。
- ③患者さんの間でも、お互いの立場やプライバシーを尊重してください。
- ④あらゆる危険を回避するために事故防止にご協力ください。
- ⑤がん医療の発展のために当院での治験、臨床試験等の臨床研究・教育・研修にご協力ください。
- ⑥当院は独立採算制をとっています。病院の運営維持のために診療費は確実にお支払いください。

がん治療 最前線

リンパ管細静脈吻合術

癌の治療としてリンパ節郭清が行われる場合があります。例えば乳がんの手術において腋窩リンパ節郭清が行われることがあります。術後数ヶ月は手術としてのむくみ、腫れがあり通常徐々に引いてきます。しかし、手術が行われて数年単位で経過していると、手術をした側の腕のむくみが取れにくくなってきた、腕周りがより大きくなってきた、ということがあります。脇のリンパ節を切除したことで腕のリンパの流れが悪くなつたことにより排出しきれなくなつた成分が腕に過剰に溜まつて起つてきた状態で、リンパ浮腫と呼ばれてています。

そのむくみに対しては1:弾性着衣(スリーブやグローブ)や、弾性包帯(バンテージ)による圧迫、2:圧迫療法をしている状態での運動療法、3:リンパドレナージ、4:スキンケアなどを組み合わせた複合的治療が有効とされています。

むくみに対しての手術療法としてリンパ管細静脈吻合術というものがあります。郭清部より遠位のリンパ管を静脈と吻合することで、リンパの流れの一部を静脈へバイパスさせることにより、浮腫の低減をはかります。リンパ管自体は直径約0.5mmと大変細いものです。それを直径0.01mm(髪の毛は太さ0.1mmと言われています)の糸を用いて血管とつなげます。

手術は、リンパ管造影を行い、リンパ管の流れを確認し、血管との位置関係から手術に適した部位を検索します。皮膚を2cm程度切開しリンパ管と血管をつなげます。局所麻酔で可能なので体の負担は少ないのですが、手術時間はおよそ2時間程度かかります。手術の有効性としては6割程度と言われています。手術単独では効果が少ないと考えられ、先に述べた複合的治療と組み合わせる必要があります。

リンパ節郭清後のむくみを感じられている方はリンパ浮腫外来を受診してください。

(形成・再建・皮膚腫瘍外科医師 山下 昌宏)



新任医師紹介 New Physician

婦人科医師

とも の かつ ゆき
友野 勝幸



平成20年に徳島大学を卒業後、広島県内を中心に広島大学の関連病院で研修して参りました。4年前に一度、半年間だけ四国がんセンターに勤務させて頂いたことがあります。その時から、がん治療の第一線を走るこの病院でまた働きたいと思っておりました。微力ではありますが、皆さんの力になれるよう精進致しますので、どうぞ宜しくお願い致します。

- 趣味:ゴルフ、ウェイトトレーニング

リハビリテーション科医師

うお たに こう じ
魚谷 弘二



2006年奈良県立医科大学卒です。これまで急性期医療を中心に携わつてきましたが、整形外科的な疼痛などのサポート、リハビリテーションからのサポートをさせていただきます。生まれは兵庫、育ちは埼玉なので、愛媛で生活することは初めてなので愛媛についても色々勉強していきます!よろしくお願いいたします。

- 趣味:食べ歩き

EVENT

REPORT



7月6日18時00分から、2階待合ホールで毎年恒例の七夕まつりを行いました。

出演いただいたのは、四国がんセンター院内保育園「くにたち保育園」からたくさんの園児たちと、今年四国がんセンターに入職した新人看護師、そして、昨年に引き続き愛媛大学教育学部の学生さんたちでした。

可愛らしい園児たちは、ダンスと歌声を披露してくれました。この様子には、会場にいた誰もがたくさんの「元気」を貰い、自然と笑みがこぼれる「癒し」の空間を作り出してくれました。新人看護師たちは、まず七夕にまつわるお話とクイズで、その場の雰囲気を和ましてくれました。そして世界中のたくさん的人が知る、坂本九の「上を向いて歩こう」、昨年大流行した星野源の「恋」を、歌やダンス、手話を交えて披露しました。まだ仕事に慣れない中、業務が終わった後にみんなで集まり、当日ぎりぎりまで一生懸命練習しました。その甲斐あってか、本番では息の合った演技で会場を

沸かせました。最後は、愛媛大学教育学部の学生さんたちが、エレクトーン、金管楽器、木管楽器、ピアノの生演奏を披露してくれました。普段なかなか身近では聞くことできない楽器のソロ演奏や、アンサンブルに会場にいた誰もが酔いしました。

催しの様子は、院内の病棟のテレビで生中継させていただきました。今回、残念ながら会場へ足を運べなかった患者さんにも、病室でお楽しみいただけたこと思います。最後に、今回出演して頂いた、くにたち保育園の園児と先生方、新人看護師、愛媛大学教育学部の皆様、運営にご協力いただいたスタッフの皆さんに心より感謝いたします。そして、来年も七夕まつりを開催することができ、皆様と一緒に楽しいひと時を過ごすことができる天の川にお祈りします。

(7階西病棟 副看護師長 紋谷和秀)



治験コーナー

CHIKEN CORNER

ちけん

「当院では治験を実施しています」

●現在募集中の治験等情報

右記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在募集中の治験等情報」です。

(平成29年8月31日現在)

● 肺がん	18件	● 膀胱がん	2件	● 頭頸部がん	2件
● 胸腺がん	1件	● 肝がん	1件	● 固形がん	4件
● 乳がん	4件	● 前立腺がん	4件	● がん悪液質	1件
● 胃がん	5件	● 尿路上皮がん	3件	● その他	1件
● 食道がん	2件	● 卵巣がん	4件		
● 大腸がん	2件	● 子宮頸がん	1件		

ホームページアドレス

<http://www.shikoku-cc.go.jp/hospital/guide/kranke/trial/>

こちらは、治験・臨床試験管理室です。このコーナーでは、ただ今、募集の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。過去に紹介した治験等に関する質問と回答内容は、ホームページの当室コーナー（アドレスを参照）に掲載しています。

(治験主任 峯本謙)



エキスパートナース・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.37

ROSE(ベットサイド迅速細胞診)

四国がんセンターでは、ベットサイド迅速細胞診(repid on-site cytologic evaluation;ROSE)を病理業務に携わる臨床検査技師で細胞検査士の資格を有する技師が行っております。

ROSEは、患者さんが気管支鏡検査などの検査を受ける場合に行います。いつもは病理検査室にいる細胞検査士が検査をしている現場まで行き、素早く標本作成し、顕微鏡で瞬時にその後の治療方針の決定に必要な細胞量が採取されているか、良性・悪性の予測など、わかる範囲で検査医師に伝えます。現在、依頼がある場合は気管支鏡検査だけでなく、CTガイド下針生検、頭頸科、整形、内視鏡検査などのROSEも行っております。

最近は採取した病理組織を用いて治療方針を決定するコンパニオン診断が多くのがんで行われるようになっているので、ROSEの役割もますます重要になってきており、私達、細胞検査士の経験

や知識、迅速な判断力が求められるようになってきております。

四国がんセンターではROSEを始めて約4年になりますが、検体採取を担当する医師の方々からは、検査の正診率が向上し、適切な治療法選択に役に立つので、もはや四国がんセンターには欠かせないものだという評価をいただいている。

今後も、さらに増えるコンパニオン診断において患者さんに、より良い治療を提供できるようROSEに対する精度管理を行い、精度向上を図りたいと考えております。

(副臨床検査技師長 山本 珠美)



「食中毒を防ぐ!!」

皆さん、食中毒予防の3原則を知っていますか。食中毒の原因となる細菌やウイルスは目に見えませんが、食材に付着したり、自分自身の手についてたりする可能性もあります。キッチンのスポンジや布巾、シンク、まな板などありとあらゆるところに潜んでいると考えても過言ではありません。

ですから、食中毒の原因菌を食べ物に「①つけてない」、食べ物に付着した菌を「②増やさない」、食べ物や調理器具に付着した菌を「③やっつける」とが予防の3原則となります。

これらはご家庭で実践できる内容です。食中毒予防のためにも皆さん、今一度自身の行為を振り返って確認してみてください。

病院のお食事はさらに厳しい衛生管理の下で作られています。安全・安心な食事づくりにこれからも努めて参りたいと思います。

(栄養管理室長 鎌田 裕子)

家庭でできる 食中毒予防の6つのポイント



食中毒予防の3原則 食中毒菌を「付けない、増やさない、やっつける」

厚生労働省

お世話になって医ます



四国がんセンターは、初診患者さん全てが地域の医療施設からのご紹介です。ここでは、かかりつけ医の皆さまからうかがった、様々なご意見をご紹介します。

平林胃腸クリニック



今回は今治市の「平林胃腸クリニック」を訪問させていただきました。

院長の平林靖士先生は、昭和55年に愛媛大学を卒業され、愛媛大学第3内科助手を経て、昭和61年から平成4年まで四国がんセンターに勤務されておられました。その後、ご実家が今治ということで、平成8年に開業されました。日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会指導医として、消化器病、特に胃腸疾患を中心に地域医療に貢献されておられます。実は、私の実家はクリニックのすぐ近くにあり、今回、少し懐かしい思いに浸りながら訪問させていただきました。

クリニックの特徴を教えてください。

「質の高い消化管内視鏡の診断と治療」を地域の方々へ提供することをクリニックの方針とし、上部3000件、下部2000件、年間合計5000件の内視鏡検査を行っています。以前は検査までお待たせすることもあったのですが、最近では翌日には内視鏡検査ができる体制をとり、少しでも早く検査をしてほしいという患者さんのニーズにこたえるようにしています。消化管疾患に特化したクリニックになりますが、その分、精度の高い診療を心がけています。

四国がんセンターに期待することや連携時の要望はありますか？

消化管のがんが見つかった時、どこの病院に紹介してほしいかと患者さんに聞くと、多くの方が四国がんセンターを希望されます。今治の患者さんは、がん治療に関して、がんセンターに大いに期待されています。FAX紹介で

は、迅速に対応いただいている、特に不満はありません。当院の生検診断はがんセンター病理にお願いしているなど、今後も連携を深めていきたいと考えています。また、ピロリ除菌など消化管に関することで協力できることがあればいつでもご連絡ください。



平林胃腸クリニック 平林 靖士院長(左)
消化器外科医長 羽藤 慎二(右)

お話を伺っている間、終始、柔らかい物腰で丁寧に対応いただきました。今治市のみならず、口コミで遠方から多くの患者さんが来院されていると伺い、先生の温厚なお人柄の賜物と感じました。四国がんセンターでは患者さんやクリニックの先生方の期待に応えるため、よりよい連携を目指した体制作りを継続してまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

(消化器外科医長 羽藤 慎二)

平林胃腸クリニック

- 住 所：〒794-0822
今治市河南町2丁目6-20
- 電 話：0898-31-5100
- 診療科目：内科、消化器科
- 休 診 日：日曜日、祝祭日、土曜午後



	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	—	—
14:00~17:00	○	○	○	○	○	—	—	—

日曜日、祝祭日、土曜午後は休診です。(臨時休診あり 午前・午後ともに検査実施時間も含む)

ご趣味は？

ゴルフ、ドライブといったところですが、診療でなかなか時間が取れません。スタッフと美味しいものを食べて気晴らしします。



宇佐美消化器クリニック 宇佐美 明彦院長(右)
臨床研究推進部長 青儀 健二郎(左)

当院に対するご要望はありませんか？

身近にがんの専門病院があって、全国区で活躍される優秀な医師が各診療科におられ、高度で最先端のがん治療が受けられる松山の医療圏のがん患者さんは幸せだと思います。紹介状に対するきめ細かいご返信も大変有難く思っています。がん診療の拠点としてさらに先進的な質の高い医療を目指して頑張ってください。

クリニックに入ってまずスタッフの方のご対応を含め細やかな心配りに満ちていることに気付きました。宇佐美先生の温かいお人柄によるものと思われました。診療実績も素晴らしいと、今後も地元の方から支持され、当院とも連携を取っていただけるクリニックとして活躍を祈念します。

(臨床研究推進部長 青儀 健二郎)

宇佐美消化器クリニック

- 住 所：〒790-0941
松山市和泉南1丁目5-7
- 電 話：089-905-2050
- 診療科目：消化器内科(内視鏡)、胃がん・大腸がん検診
- 休 診 日：水曜日、日曜日、祝祭日、土曜午後



	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~11:00	○	○	—	○	○	○	—	—
16:00~18:00	○	○	—	○	○	—	—	—

水曜日、日曜日、祝祭日、土曜午後は休診です。(検査予約の方は、この限りではありません。)



平林胃腸クリニック
宇佐美消化器クリニック

感染症・腫瘍内科



感染症の問題は国内だけに止まらず世界的な健康危機として認識されています。全世界で薬剤耐性菌を減らすための国家的戦略としての薬剤耐性アクションプラン(AMRアクションプラン)が発表され、世界規模で薬剤耐性菌を減らすための活動が始まりました。日本も2016年から耐性菌を蔓延させないため具体的な成果目標を提示し国を挙げた対策を行っています。

このような時代の流れに対応し、感染症のリスクを減らし安全にがんの治療を受けていただけるよう、感染症・腫瘍内科は院内ICT (Infection control team)と連携し病院内でおこる感染症を防ぐための様々な活動を行っています。

四国がんセンターで起こる感染症の特徴として、①がんに対する各種治療(抗がん剤、手術、放射線治療)に合併して発症すること②免疫力の低下した患者さんが多く入院していることがあげられます。そのため、感染症の対応が遅れると重症化しやすく、かつ患者さんの間に感染が広がる危険性が常にあります。

より早く感染症に対処するため、ICT活動の一環としてモーニン

グカンファレンスを行い、病院全体から提出された培養検査を毎日確認しております。また愛媛県下の主要な病院と連携し、より充実した感染活動となるようお互いに連絡体制を整えております。また感染症が起きた場合、感染症・腫瘍内科は各科の先生と共同で治療にあたり、専門的な視点からより効果的に感染症を直すための治療方針を提案しています。

がん治療の経過中に発症した感染症を適切に治療でき、患者さんが安全にがん治療を続けていただけるよう感染症・腫瘍内科はこれからも活動していきます。



(感染症・腫瘍内科医長 濱田 信)

医者のつぶやき リレーエッセイ



●第一回 ワルの誕生

前回惜しまれて終了した栗田名誉院長の「患者の言い分、医者の言い分」の後を受け、今回からリレーエッセイを始めることになった。

さて、皆さんには『超人血盟軍』をご存じだろうか?我々のバイブルである『キン肉マン』に登場する超人軍団の一つだ。その首領であるキン肉アタルの数々の名言の一つに強豪マンモスマンに圧倒されたバッファローマンに対してかけた言葉がある。
「このタッチは恐怖から逃げるためにわたしに助けを求めているものだ。こんな弱気なタッチは受け取れん」

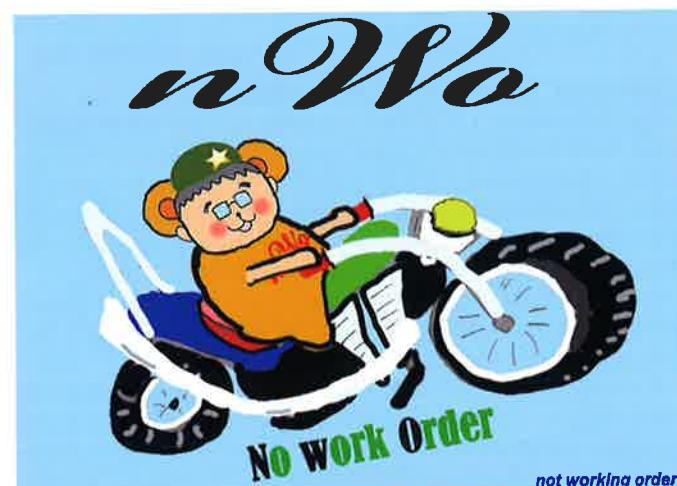
私もこの言葉に従い、恐怖から逃げず、広報紙に適切な内容かどうかは気にせず、存分に書くまで誰にもタッチすまいと決意した。

私は30年目の病理医、四国がんセンターに赴任して16年目になる。そこそこの古株なので何十年も修行してきた病理医の枠の外の仕事を色々抱えるようになり、毎日大きなストレスを抱えている。ある日、バイクが欲しいという妻と一緒に行った中古屋の片隅に古くてぼろくて長くてハンドルがやけに高い、乗り物としては無駄な要素の塊であるスティード(ホンダの中型アメリカンバイク)を見た私は一気に決心した。『そうだワルになろう』

少しほっちやりだが生来健康、実家から大学に通い、大学院まで計10年の最短で卒業し、一人の妻に四人の子供とまじめに50年余の人生を送ってきた私はワルになるべく選ばれた人間だった。次の日から教習所に通い、2年前の夏、私は晴れて路上のワルになった。

伝統的なバイカーのダブルの革ジャンで自分のキャラの旗を立てた70年代ティストのバイクにまたがり、法規内音量のノーマルマフラーをぴかぴかに磨いたり、遠回りしてうちに帰ったり、ツーリングのたびにソフトクリームを3回食べたり、ま、さ、に、したい放題…

さて、早くも紙面がつきたので、法令と近所迷惑を気にするワルとして、不要な生命の危険と隣り合わせで今日も走る私の話は、以下次号



(がん予防・疫学研究部長 寺本 典弘)

ハイ!一句 がんセンター 俳句ポスト



星涼し術後の夫に勞われ

(77歳・男性)
手術をした夫(もしくは妻)に、付き添いの自分が労わられたという景なのでしょう。作者は、夏の夜空を見上げながら、手術が終わったことをひとまずは安堵したに違いありません。星涼しという季語が秀逸。夫婦の慈しみやいたわり、安堵、それ以上の余韻を感じさせます。



せみのこえあそべあそべときこえるひ

(8歳・女子)
蝉の全力の鳴き声に囲まれて、まさに夏、そして夏休みだなあと感じたのでしょう。プール、海、山、キャンプ、と夏の遊びが浮かんできてわくわく。下五「きこえるひ」がいいですね。今日はとくに、そんな風に聞こえる日。もしかして終わっていない夏休みの宿題から逃れたい気分なのかもしませんね。



皆さん
「一句」募集中!!

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ!一句ポスト」。大変ご好評をいただけております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。選句は、毎月当コーナーに掲載させていただきます。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一言」「楽しい一句」をお待ちしております。



お知らせ

いつも四国がんセンターニュースをご愛読頂きありがとうございます。ニュースの定期発送をご希望の方は、広報活動委員までご連絡ください。

■ご連絡方法…●電話:089-999-1111(代表) ●FAX:089-999-1100

なお、既に定期発送させて頂いている方で、発送が必要でない場合はご一報頂きますようお願い申し上げます。

ご意見箱設置



当院では、中央待合ホールや各病棟にご意見箱を設置しております。皆さんからいただいた当院への貴重なご意見、ご感想は職員一同、真摯に受け止め、患者さんの立場に立った、よりよい療養生活、療養環境に貢献できますよう改善に努めて参りたいと考えております。今後とも当院に対するご意見等がございましたらご遠慮なくお寄せください。(氏名・病棟名は無記名でも結構です。)

皆さんからのご意見、ご感想に対する回答は、2階患者さん用エレベーター横の掲示板に掲示させていただいております。

ご意見、ご感想等ありましたら、広報活動委員までお寄せください。

■広報活動委員…河村 進(委員長)・上甲 尚史・石井 浩・橋根 勝義・井尻 昭・伊藤 真之・向井 敬浩・樋口 智之・高市 瑞穂(ボランティア)

標語の紹介

- 10月 ゆとりある 言葉と対応 心がけ 始まる広がる いい医療
- 11月 言葉かけ 一つで 心が温かい
- 12月 ひとりひとり 心がけよう 明るいあいさつ

1日平均患者数

	28年度	29年度(4月~8月末)
入院	277.5	272.0
外来	472.4	466.7

手術・化学療法・PET・CT件数 ※()内は1日平均件数

	28年度	29年度(4月~8月末)
手術	2,125 (8.7)	865 (8.3)
外来化学療法	8,856 (36.4)	3,575 (34.4)
PET - CT	4,841 (19.9)	2,011 (19.3)

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております



東温市河之内 撮影:高市 瑞穂

外来診療一覧表

●新患受付時間 7:30~12:00

●診療時間 8:30~17:15

休診日:土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合があります
のでご了承ください

四国がんセンター概要

〒791-0280

愛媛県松山市南梅本町甲160

TEL:089-999-1111

FAX:089-999-1100

<http://www.shikoku-cc.go.jp/>

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。

当院はこの城下町の南東に位置し、東に靈峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。

交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。

今後も患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。

診療内容

呼吸器内科	乳腺外科
呼吸器外科	婦人科
消化器内科	頭頸科・甲状腺腫瘍科
消化器外科	骨軟部腫瘍・整形外科
精神腫瘍科	形成・再建・皮膚腫瘍外科
緩和ケア内科	リハビリテーション科
ストーマ外来	リンパ浮腫
禁煙外来	放射線診断科
泌尿器科	放射線治療科
血液腫瘍内科	病理診断科
感染症・腫瘍内科	歯科
セカンドオピニオン	麻酔科
家族性腫瘍(がん)相談	がんドック
がん看護外来	原発不明がん診療科

病床数

405床

診療科	月	火	水	木	金
消化器	食道・胃・大腸 肝・胆・脾	梶原(化) 西出(内) 灘野	仁科(化) 堀(内) 浅木	仁科(化) 堀(内)	梶原(化) 日野(化)
	食道・胃		羽藤		野崎
	大腸	小林	落合	棚田	予小島 ★落合/★小島
呼吸器	肝・胆・脾		大田	棚田	測野 畔元
	内科	○原田	○野上	○野上	上月
	内科新患		原田		原田
禁煙外来	外科	山下(素)	上野	杉本	山下(素) 牧
	緩和ケア・精神腫瘍科	三好(緩和)	谷水(緩和)	成木(緩和)	落合(緩和・精神) 予大中(緩和)
		○橋根		橋根	○角田
泌尿器科	○角田		○二宮		○二宮
	○細川		○細川		○井内
血液腫瘍内科		吉田		吉田	
	○濱田			○濱田	
		竹原/坂井	横山(隆)	竹原	横山(貴)
婦人科	横山(隆)		大龜		大龜/睡本
	横山(貴)		藤本		坂井 友野
		青儀 高嶋	大住 高橋	青儀 高嶋	大住 ○高嶋
乳腺外科	高嶋		高嶋	高嶋	原(化)
		○門田	○担当医	○藤田	○藤田
		橋本		門田	○担当医
頭頸科・甲状腺腫瘍科 (耳鼻咽喉科)	花川		岡		岡
		○杉原		○杉原	△杉原
	○魚谷		○魚谷	△杉原	○魚谷
放射線	診断科	菅原	桐山	菅原	菅原
	治療新患	片岡	清水	片岡	細川
	治療科	神崎	神崎	上津	上津
ストーマ外来	上津	上津	片岡	神崎	★片岡/★神崎
		落合	橋根	片岡	★神崎/☆片岡
		○河村	○山下(昌)		△藤田
リンパ浮腫外来					リンパ浮腫ケア(自費)
					リンパ浮腫ケア(自費)
					リソバ浮腫ケア(自費)
麻酔/疼痛外来					リソバ浮腫ケア(自費)
					武智/正岡(隔週)
					○首藤
原発不明がん診療科	△青儀				
	担当医				
	担当医				
がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来
がんドック	酒井	徳永	酒井	徳永	酒井
	日野	治療内視鏡	日野	堀	寺尾
	堀	治療内視鏡	西出	西出	堀
内視鏡生理検査	畔元	治療内視鏡	畔元	畔元	西出

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後ののみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

交通のご案内

